

2025年 3月期 決算補足説明資料

高千穂交易株式会社（証券コード：2676）

2025年5月13日

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 通期決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

※2025年3月期 通期決算発表より、IR資料は下記内容とスケジュールで発表予定です。

従来の「決算説明資料」の内容



- <参考資料>
- [中期経営計画 2022 - 2024](#)
 - [中期経営計画 2025 - 2027](#) (2025年3月21日発表)

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 通期決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

✓ 2025年3月期 <実績>

- ✓ 下記要因により**増収増益**で、**上場来最高益**を更新
 - **クラウドサービス&サポート**：クラウドサービスのライセンス数の積み上げや大口顧客の新規獲得で伸長。保守事業で価格改定等の取り組みが奏功し、収益性が改善。
 - **システム**：外資系企業オフィス向けセキュリティシステムの売上が伸長。前年度の防火システム事業の一過性費用が剥落し、収益性が改善。
 - **デバイス**：エレクトロニクスは、民生機器・ビジネス機器向け好調、メカトロニクスは金銭機器・複合機・住宅設備向けが好調。
- ✓ 為替差損の計上により、当期純利益は計画比▲2.1%となったが、**中計の数値目標14億円を達成**
- ✓ 1株当たり年間配当金は**160円**（中期経営計画達成による特別配当4円を含む）で、前年より**2円増配**

✓ 2026年3月期 <計画>

- ✓ 成長投資により販管費は増加するものの、主にビジネスセキュリティ*¹の事業成長で、**増収増益**を計画
- ✓ 1株当たり年間配当金は**161円***²を予定（前年+1円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画
売上高	25,224	26,900	28,098	30,000
営業利益	1,465	2,050	2,079	2,200
経常利益	1,835	2,000	2,004	2,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,437	1,490	1,458	1,500
ROE	8.6%	8.6%	8.7%	8.9%
1株当たり年間配当金	158円	160円	普通配当 156円 特別配当 4円 160円	(※2) 161円

*¹ 「クラウドサービス&サポート」と「システム」を統合した新セグメント（詳細は[新中期経営計画](#)をご参照ください） ©TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD. 4

*² 2025年6月1日を効力発生日とする株式分割（2分割）考慮後の1株当たり年間配当金は80.5円

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 通期決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結業績ハイライト

[単位：百万円]



増収増益で上場来最高益を更新し、中期経営計画の数値目標を達成

	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2025年3月期 実績	前期比	計画比
売上高	25,224	26,900	28,098	+11.4%	+4.5%
売上総利益	6,051	6,900	6,909	+14.2%	+0.1%
売上総利益率(%)	24.0%	25.7%	24.6%	+0.6pt	▲1.1pt
販管費	4,585	4,850	4,830	+5.3%	▲0.4%
営業利益	1,465	2,050	2,079	+41.9%	+1.5%
営業利益率(%)	5.8%	7.6%	7.4%	+1.6pt	▲0.2pt
為替差益	293	—	—	—	—
為替差損	—	—	84	—	—
経常利益	1,835	2,000	2,004	+9.2%	+0.2%
経常利益率(%)	7.3%	7.4%	7.1%	▲0.2pt	▲0.3pt
税引前利益	2,116	—	2,170	+2.6%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,437	1,490	1,458	+1.4%	▲2.1%
ROE	8.6%	8.6%	8.7%	+0.1pt	+0.1pt
EPS	158.46円	162.13円	158.19円	▲0.27円	▲3.94円

セグメント別業績

[単位：百万円]

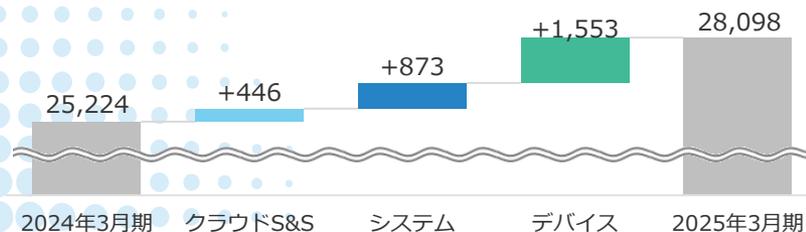


全てのセグメントで増収

システムの一過性費用剥落、クラウドサービス&サポートで収益性改善の取り組みが奏功し、増益

		2024年3月期 実績*	2025年3月期 実績	増減額	増減率	2025年3月期 計画	増減額	増減率
クラウドサービス &サポート	売上高	3,113	3,559	+446	+14.3%	4,200	▲640	▲15.2%
	営業利益	529	776	+247	+46.7%	730	+46	+6.4%
	営業利益率(%)	17.0%	21.8%	+4.8pt	-	17.4%	+4.4pt	-
システム	売上高	9,275	10,148	+873	+9.4%	9,600	+548	+5.7%
	営業利益	▲72	376	+449	-	380	▲3	▲0.9%
	営業利益率(%)	▲0.8%	3.7%	+4.5pt	-	4.0%	▲0.3pt	-
デバイス	売上高	12,835	14,389	+1,553	+12.1%	13,100	+1,289	+9.8%
	営業利益	1,008	926	▲82	▲8.1%	940	▲13	▲1.4%
	営業利益率(%)	7.9%	6.4%	▲1.5pt	-	7.2%	▲0.8pt	-
連結合計	売上高	25,224	28,098	+2,873	+11.4%	26,900	+1,198	+4.5%
	営業利益	1,465	2,079	+614	+41.9%	2,050	+29	+1.5%
	営業利益率(%)	5.8%	7.4%	+1.6pt	-	7.6%	▲0.2pt	-

■ 売上高 (前年同期比)



■ 営業利益(前年同期比)

(*)2024年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み (詳細は「[2025年3月期 第2四半期決算説明資料](#)」P.16参照) ©TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

セグメント別業績（クラウドサービス&サポート）

[単位：百万円]



売上高 3,559 百万円 前期比 +446百万円

クラウドサービスのライセンス数積み上げや大口顧客の新規獲得、保守の新規契約獲得・既存契約拡大により伸長

営業利益 776 百万円 前期比 +247百万円

クラウドサービスの増収、保守事業で収益性改善の取り組みが奏功したことにより伸長

【種類別売上高】*1



【売上高 増減要因(前期比)】

● 保守事業

- (+) 新規契約の獲得
- (+) 顧客の拠点拡張による既存契約の拡大

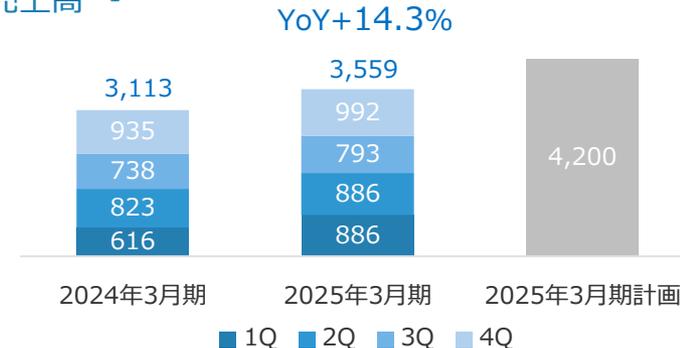
● クラウドサービス事業

- (+) ライセンス数の積み上げ
- (+) クラウドネットワーク製品の機器代・初期費用
→大口顧客（ホテル・飲食チェーン店等）の新規獲得

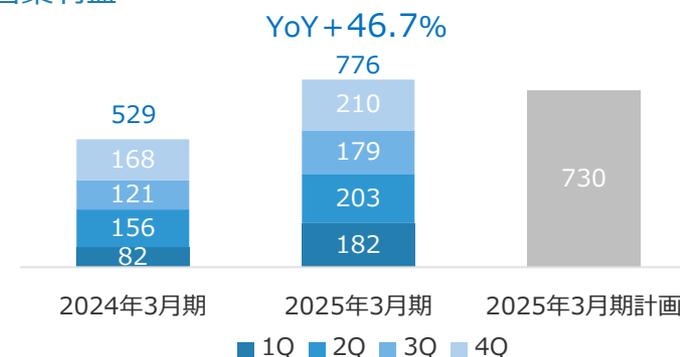
【四半期期間別営業利益率 増減要因(前年同期比)】

- 1Q：メーリングシステムの販売増に伴い売上振替*2増、一部販管費の減少
- 2Q：クラウドサービス増収、保守契約価格改定、一部販管費の減少
- 3Q：メーリングシステムスポット保守増加、クラウドサービス増収、保守契約価格改定、一部販管費の減少
- 4Q：クラウドサービス増収、保守契約価格改定、一部販管費の減少

■ 売上高 *1



■ 営業利益 *1



■ 営業利益率（四半期期間別）*1



(*1) 2024年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細は「2025年3月期 第2四半期決算説明資料」P.16参照）

(*2) システムセグメント製品の販売初年度の保守を無償で実施している分について、保守原価相当分をクラウドサービス&サポートの売上に振替

MSPサービス※1の契約状況



MSPサービスKPI

契約数

2025年3月末

19,447ライセンス

新規契約数

2024年4月～2025年3月

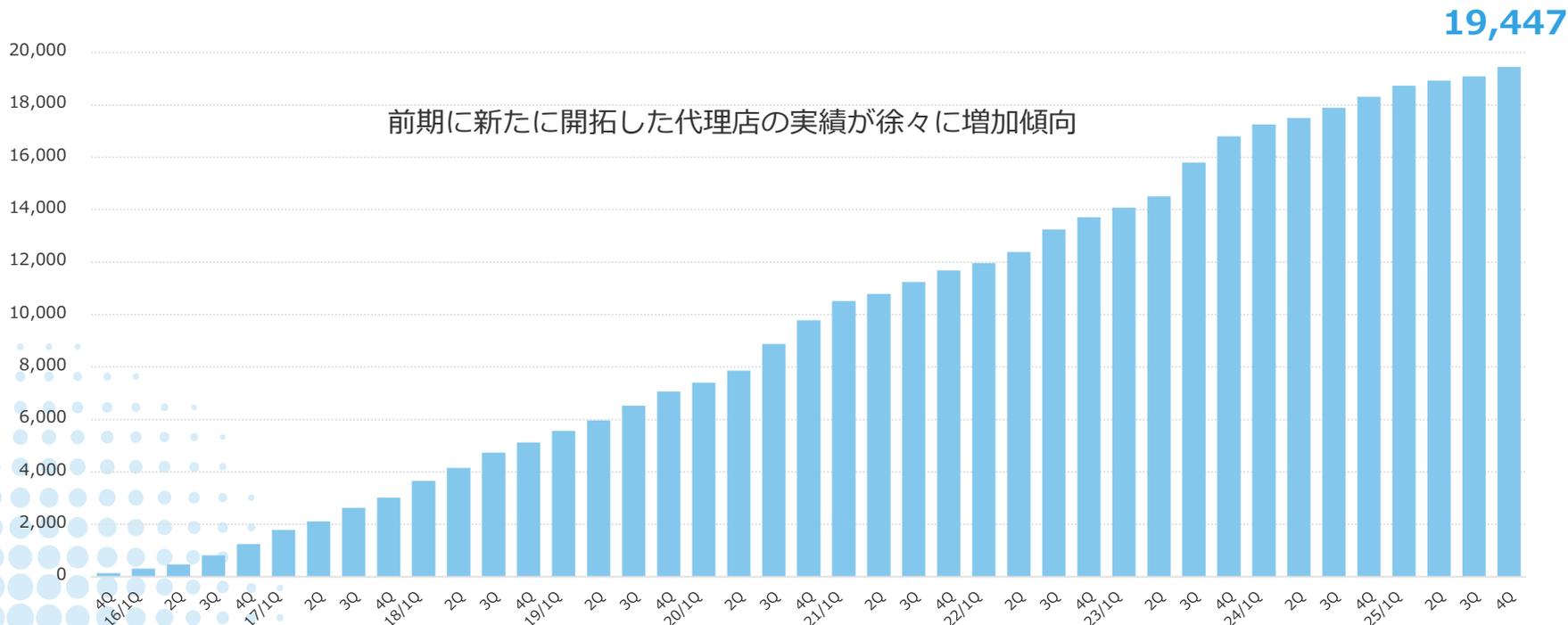
2,850ライセンス
(前期比▲62)

月次解約率※2

2024年4月～2025年3月

0.55%

■ MSPサービス契約数推移 (対象：クラウド型ネットワーク製品のみ)

※1 MSPサービス：詳細は[こちら](#)をご確認ください。

※2 月次解約率：1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

セグメント別業績（システム）

[単位：百万円]



売上高 10,148 百万円 前期比 +873百万円

ビジネスソリューションで、外資系企業のオフィス向けにセキュリティシステムの販売が伸長

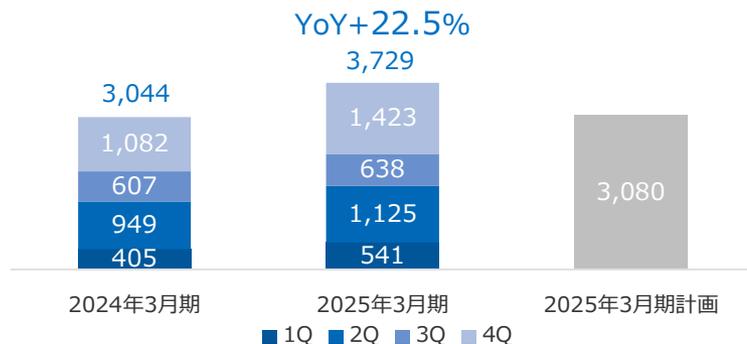
営業利益 376 百万円 前期比 +449百万円

グローバルの防火システム事業で、前年度の追加工事費用が剥落したことに加え、収益率の高い案件に注力したため改善
ビジネスソリューションの好調も寄与

● リテールソリューション*



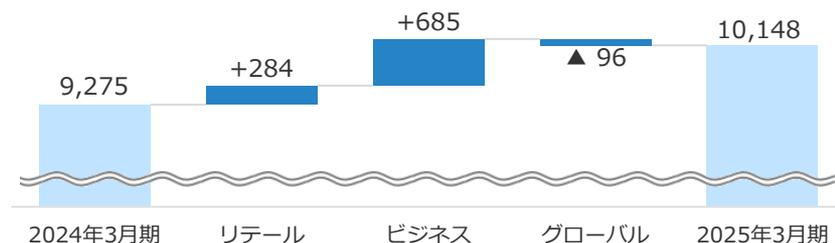
● ビジネスソリューション*



● グローバル



【売上高 増減要因（前期比）】*



● リテールソリューション

- (+) GMS向け監視カメラ・顔認証
→ リプレイス需要の取り込み

● ビジネスソリューション

- (+) 外資系企業オフィス向け入退室管理システム・監視カメラ
→ オフィスの拠点拡張や移転による需要の取り込み

● グローバル

- (△) 防火システム事業で収益率の高い案件に注力

セグメント別業績（デバイス）

[単位：百万円]



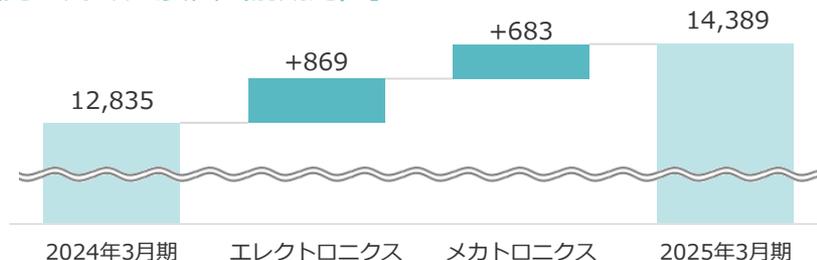
売上高 14,389 百万円 前期比 +1,553百万円

エレクトロニクスは民生機器・ビジネス機器向けが好調、
メカトロニクスは金銭機器・複合機・住宅設備向けが伸長

営業利益 926 百万円 前期比 ▲82百万円

エレクトロニクスで円安による仕入コスト増加、および一過性
費用の計上により減少

【売上高 増減要因（前期比）】



● エレクトロニクス

(△) 顧客の在庫調整

→ 特に産業機器・アミューズメント向けの売上に影響

(+) 民生機器・ビジネス機器向け電子部品

→ 最終製品の販売が好調で、生産台数が増加

[計画比]当初の想定よりも早く、3Qからビジネス機器の一部顧客で
在庫消化が進んだ他、民生機器・ビジネス機器向けが好調

● メカトロニクス

(+) 金銭機器・複合機向け機構部品

・金銭機器：新紙幣改刷で入替需要増加、海外向け好調

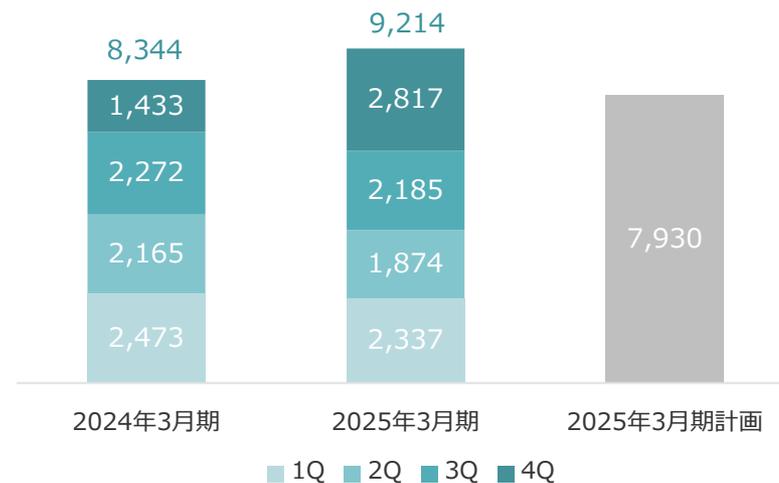
・複合機：オフィス回帰が進み、生産台数が増加

(+) 住宅設備向け機構部品

→ 企画開発品の採用・横展開が進む

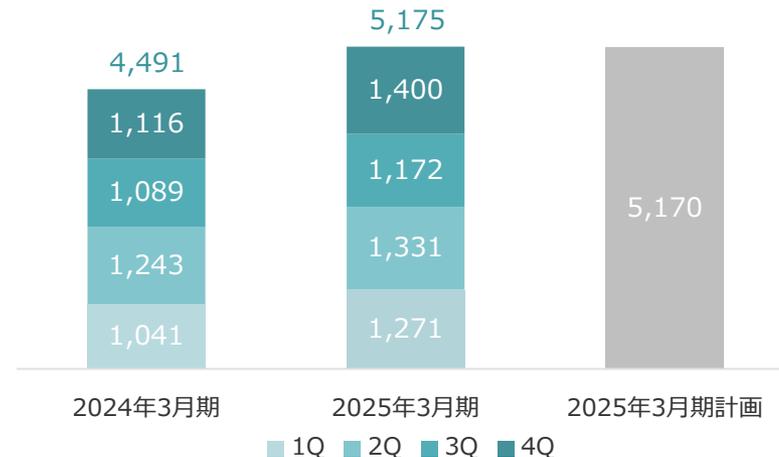
● エレクトロニクス

YoY + 10.4%



● メカトロニクス

YoY + 15.2%

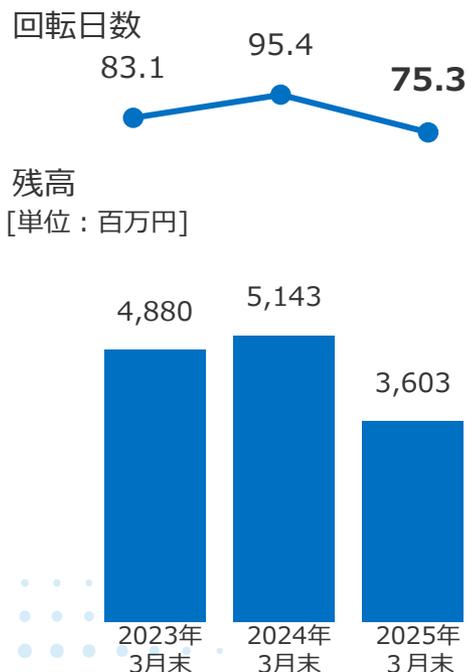


資本効率改善状況



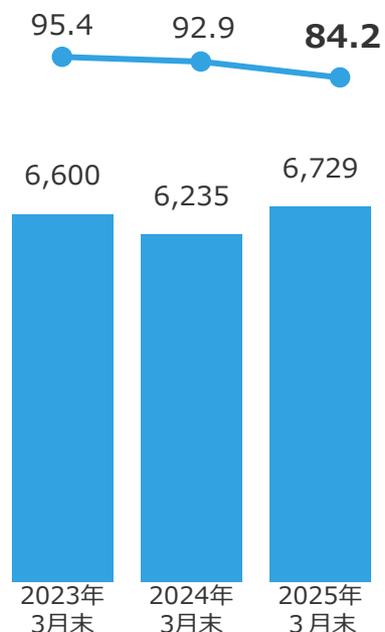
在庫を適正水準まで抑えるべく、受注残の取り込み・発注コントロールを強化
債権・債務は取引条件の見直しを実施し、キャッシュフローを改善

棚卸資産



主にデバイス（エレクトロニクス）
の受注残納品により減少

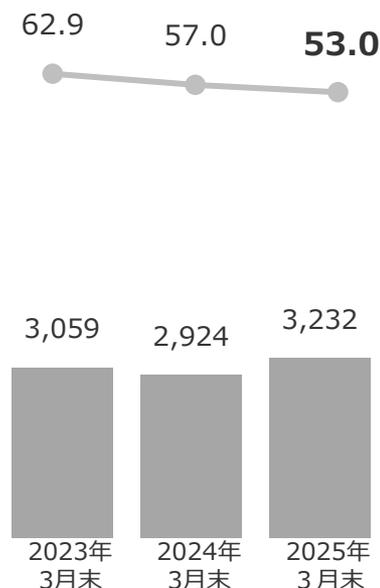
売上債権



[計算式]

- 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- 売上債権回転日数 = 売上債権（期首・期末の平均残高）÷ 売上高 × 日数
※ 売上債権 = 売掛金 + 受取手形 + 契約資産 + 電子記録債権 ▲ 契約負債（前受金）
- 仕入債務回転日数 = 仕入債務（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- 日数・・・3月末は365日で計算

仕入債務



株主還元



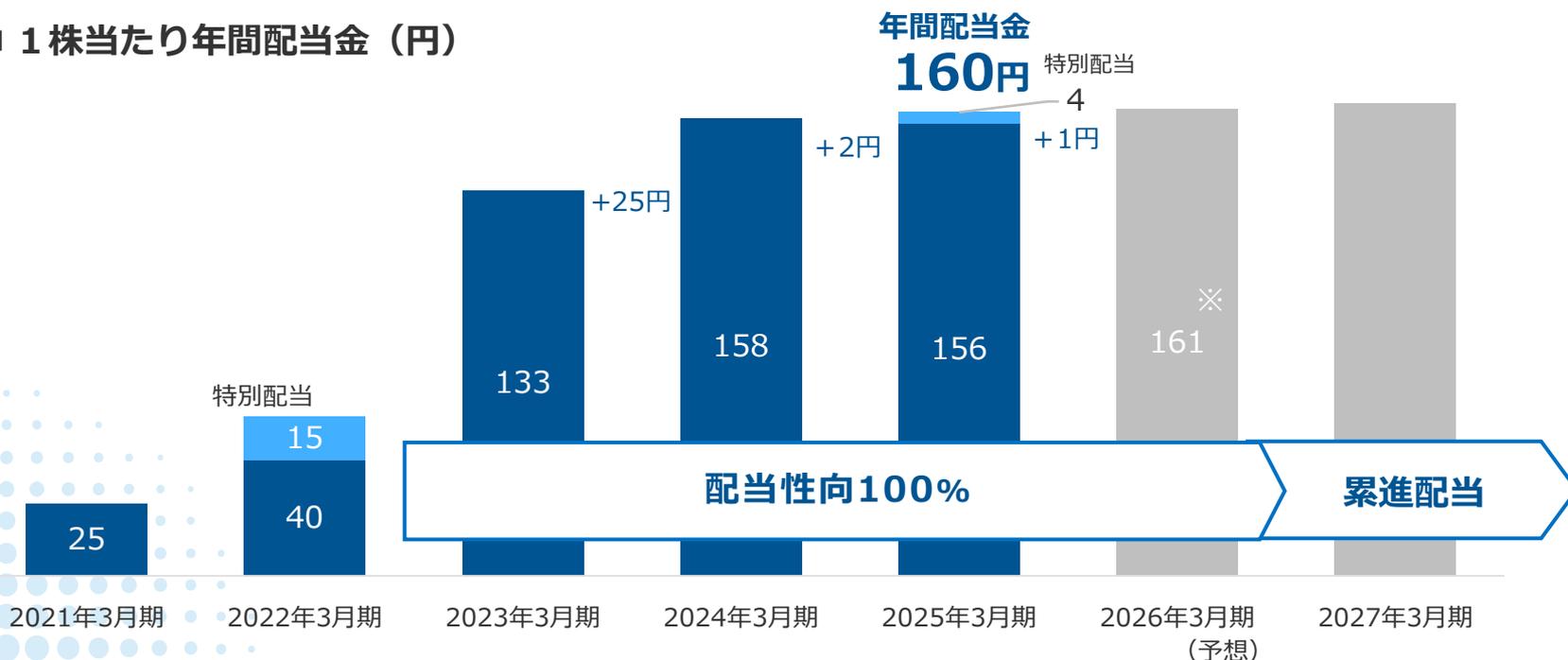
- 2025年6月1日を効力発生日とする株式分割（2分割）を決定
- 2025年3月期の年間配当金は前年より2円増配の**160円**（中期経営計画達成による特別配当4円含む）

中期経営計画 2025-2027 配当方針

資本政策の方針である「成長投資と株主還元の両立」に基づき、

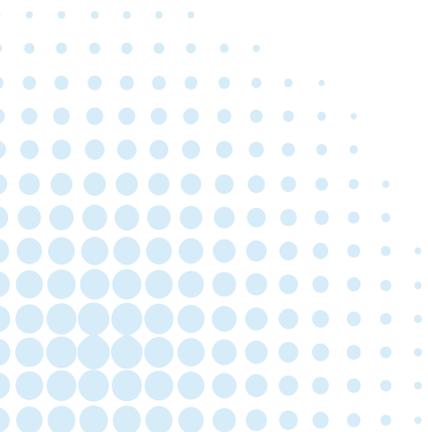
- 財務健全性を確保しながら、積極的な投資による事業成長を目指す
- 2026年3月期は配当性向100%、2027年3月期以降は累進配当制を導入

■ 1株当たり年間配当金（円）



(※) 株式分割考慮後の1株当たり年間配当金は80.5円

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期 通期決算
3. 2026年3月期 通期見通し
4. Appendix



成長投資により販管費は増加するものの、
主にビジネスセキュリティ^{*1}の事業成長で、増収増益を計画

	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	増減額	前期比
売上高	28,098	30,000	+1,901	+6.8%
売上総利益	6,909	7,660	+750	+10.9%
売上総利益率(%)	24.6%	25.5%	-	+0.9pt
販管費	4,830	5,460	+629	+13.0%
営業利益	2,079	2,200	+120	+5.8%
営業利益率(%)	7.4%	7.3%	-	▲0.1pt
経常利益	2,004	2,100	+95	+4.7%
経常利益率(%)	7.1%	7.0%	-	▲0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,458	1,500	+41	+2.9%
ROE(%)	8.7%	8.9%	-	+0.2pt
EPS	158.19円	161.31円 ※2	+3.12円	-
1株当たり年間配当金	160円	161円 ※2	+1円	-

(※1) 「クラウドサービス&サポート」と「システム」を統合した新セグメント（詳細は[新中期経営計画](#)をご参照ください）

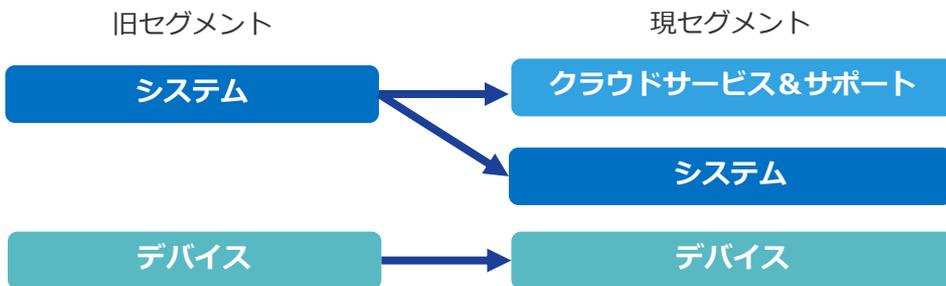
(※2) 2025年6月1日を効力発生日とする株式分割（2分割）考慮後のEPSは80.65円、1株当たり年間配当金は80.5円

Appendix

セグメントと主なプロダクト・サービス



■ セグメントの体系



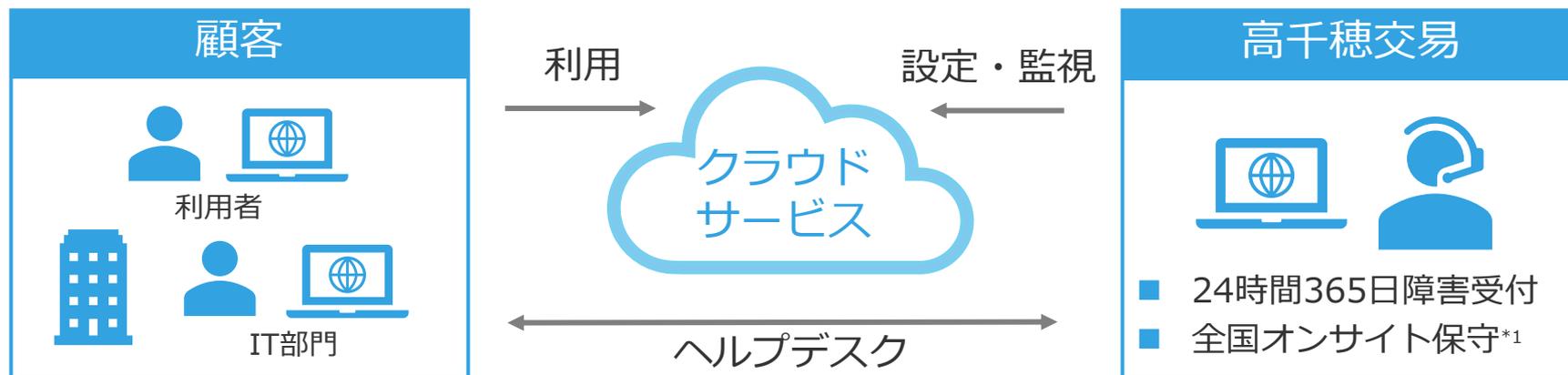
中期経営計画期間（2023年3月期）より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサブスクリプション型サービスビジネス、保守事業を『成長事業』として位置づけ、セグメントとして切り分けます

※ システムセグメントの「サービス&サポート」商品類を「クラウドサービス&サポート」に名称変更し、新たにセグメント化

クラウドサービス&サポート	システム	デバイス
 <p>クラウド型無線LAN</p>	 <p>入退室管理システム 顔認証システム</p>	 <p>電源モジュール シリコンマイク ソフトクローズ</p>
<p>クラウドサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 「機器・クラウドサービス・運用管理」が一体となったMSPサービス クラウドネットワーク製品 その他 	<p>リテール</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品監視(万引き防止)システム 監視カメラシステム、顔認証システム ストアマネジメントシステム・RFIDシステム ディスプレイセキュリティシステム 	<p>エレクトロニクス</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体・IC / 電子部品・センサ 各種モジュール
<p>保守</p> <ul style="list-style-type: none"> システムセグメント内の商品の保守サービス 	<p>ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム、監視カメラシステム メーリングシステム RFIDシステム ネットワーク製品 	<p>メカトロニクス</p> <ul style="list-style-type: none"> スライドレール / ガススプリング ソフトクローズユニット / 電子錠
<p>グローバル</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火システム 		

MSP（Managed Service Provider）サービスとは

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視業務をアウトソーシングできるサービス



主なMSPサービス対象製品

CISCO
Meraki



クラウド型無線LANシステム

『クラウド型無線LANシステム』とは？

無線LANアクセスポイントを
クラウド上で管理

- ✓ クラウド上で利用状況を可視化
- ✓ 導入や故障時の対応が簡単・早い
- ✓ 設定・監視のアウトソーシングが可能

MSPサービス料金形態

(1) ~ (3) を一体型のサービスとして月額払いで提供*2

- (1) 機器代
- (2) クラウドサービスライセンス料
- (3) 保守料

*1 一部エリアを除く

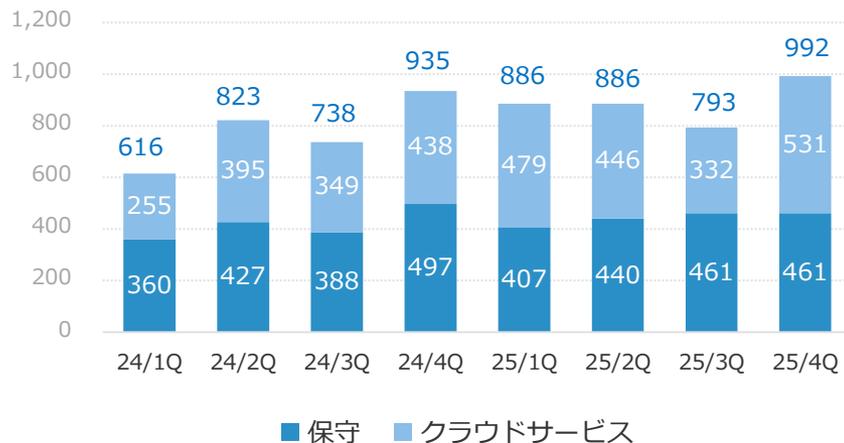
*2 ① 機器代のみ一括払い可能

四半期別売上高内訳（クラウドサービス&サポート）

[単位：百万円]



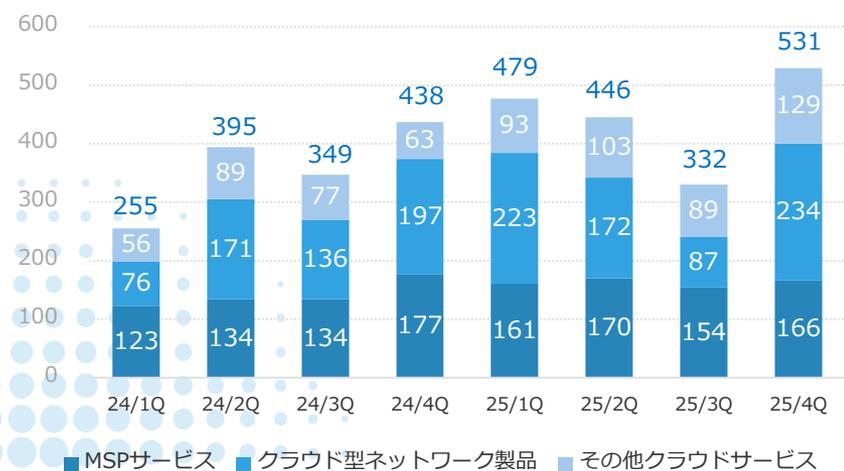
1 クラウドサービス&サポート売上高内訳



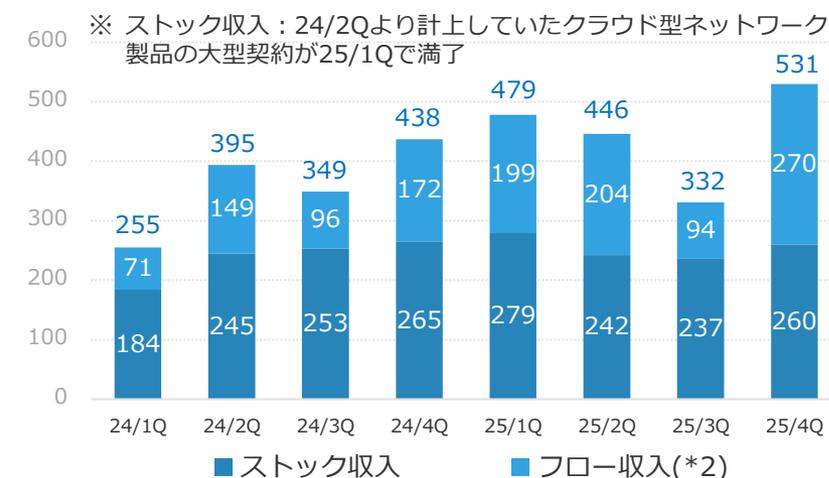
2 保守売上高内訳(形態別)



3 クラウドサービス売上高内訳（サービス別）



4 クラウドサービス売上高内訳(形態別)



(※)2024年3月期の数値は、セグメント区分の変更を反映済み（詳細は「2025年3月期 第2四半期決算説明資料」P.16参照）

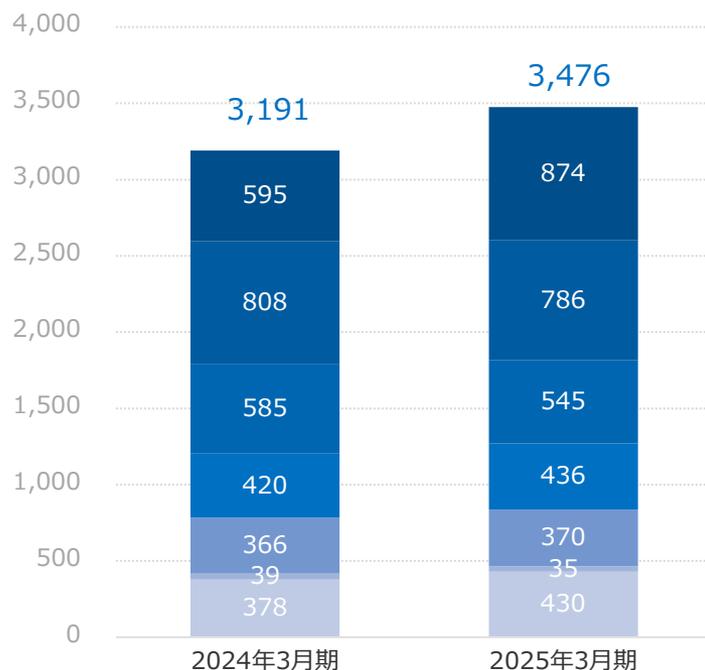
(*1)システムセグメント製品の販売初年度の保守を無償で実施している分について、保守原価相当分をクラウドサービス&サポートの売上振替 (*2)初期費用、MSPサービスの機器代の一括払い分等

売上高内訳（リテールソリューション・ビジネスソリューション）

[単位：百万円]

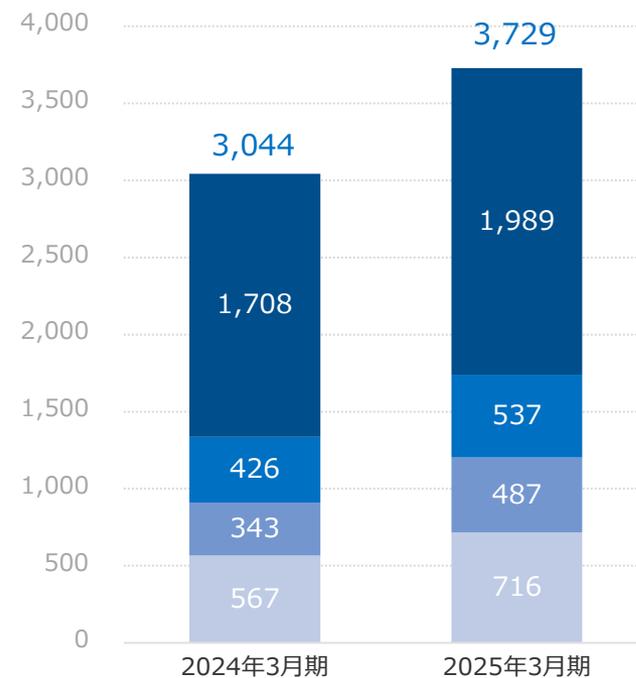


● リテールソリューション売上高*



■ GMS	595	874
■ ドラッグストア	808	786
■ 薬局	585	545
■ ホームセンター・スポット	420	436
■ 家電	366	370
■ 薬局	39	35
■ その他	378	430

● ビジネスソリューション売上高*



■ 入退室管理・監視カメラ	1,708	1,989
■ ネットワーク製品	426	537
■ RFIDシステム *1	343	487
■ メーリングシステム *2	567	716

*1 RFID：電波を用いて、非接触でICタグのデータを読み書きするシステム

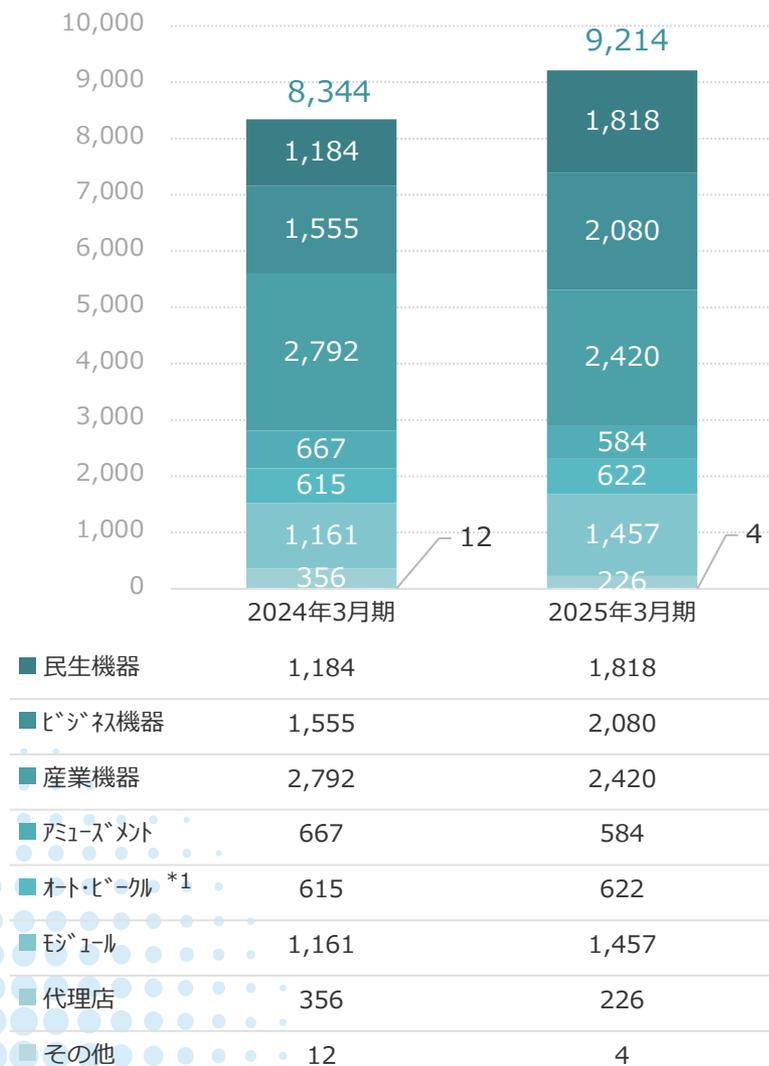
*2メーリングシステム：封入封緘機（書類を封筒の中に入れ、封書ののり付けまでの一連作業を自動化する機械）

売上高内訳（デバイス）

[単位：百万円]

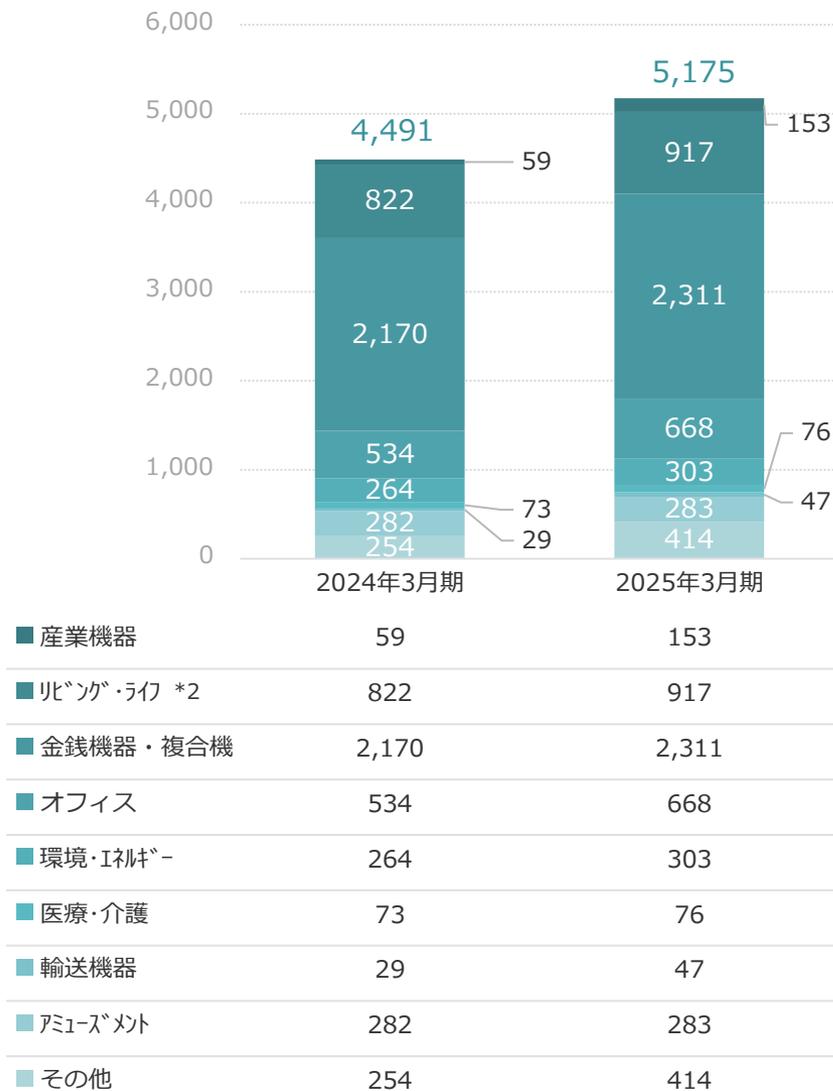


● エレクトロニクス売上高



*1オートビークル：車載機器、鉄道機器、船舶、輸送機器

● メカトロニクス売上高

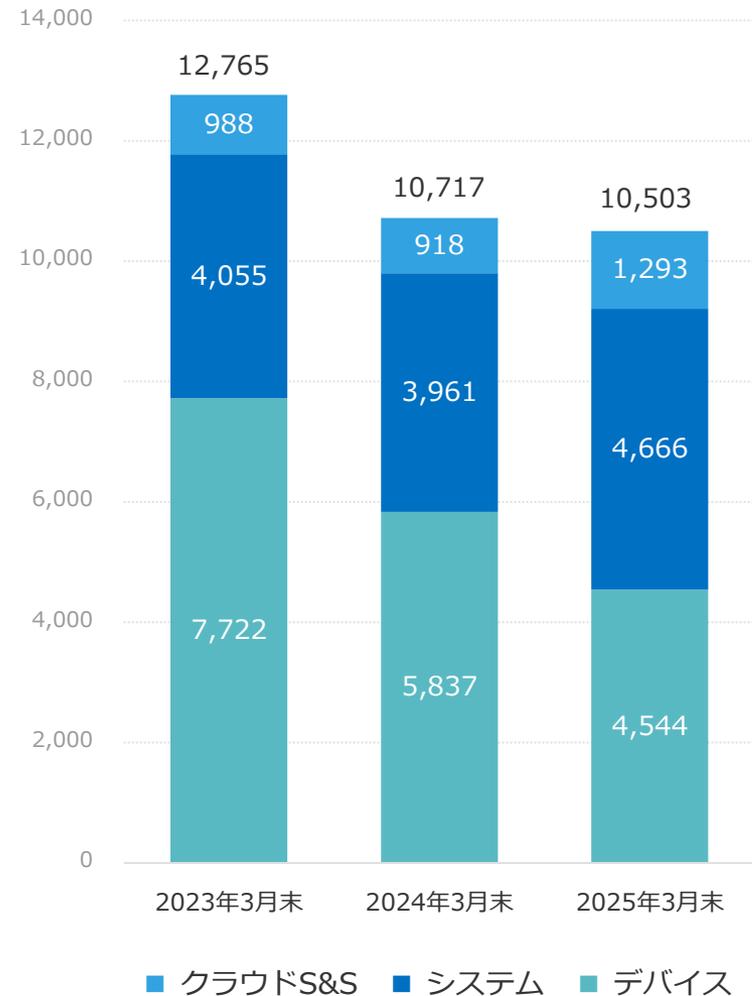


*2リビング・ライフ：住宅設備、自動車内装向け／環境・エネルギー：蓄電・太陽光発電向け

● 受注高



● 受注残



2024年3月末



2025年3月末



(増減要因) 純資産▲1・・・配当支払▲1,503、当期純利益+1,458、その他包括利益累計額+37

会社名	高千穂交易株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長執行役員 井出 尊信
従業員数	連結459名、単体250名（2025年3月31日時点）
連結子会社	国内1社、海外8社（上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ）



本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

 ir@takachiho-kk.co.jp

 03-3355-1201

IR News Mail



note